宮代地区まち協通信

＜発行日＞
令和８年10月１日
第154号

目次

●「宮代の登録有形文化財」
●休館日（予定）
●行事予定（10月度）
●文芸の広場
　中山社　北野俳句会
●活動報告
●「大切にしたい力」

「宮代の登録有形文化財について」②（①は136号に掲載）

宮代の自然と歴史・文化を愛する会　藤塚　久勝

鉄塔山神社本殿（令和元年12月　町登録有形文化財に登録）朱雀天皇16年（939年）、平将門降伏の勅願があり、その功にて鉄塔山の号を授けられ、鉄塔山天上寺となる。明治の神仏分離令などにより、神職として近隣氏神社の祭事を司る。昭和26年宗教法人の認可を受け、鉄塔山神社となり現在に至る。現在の本殿は、明治19年４月に火事で焼失し、同22年４月、中山道の柏原宿本陣主殿を移築したものである。この建物は、和宮降嫁及び、明治天皇が巡幸の際に使用され、当時のまま保存されている。建物東側中央に玄関を配し、玄関先に和室10畳がある。上段和室は明治の移築時にＬ字状の側入と、これに囲まれて書院造りの上段和室と和室がある。北側は和室と板の間からなり、西側に神棚が設けられ、神社の用に供されている。

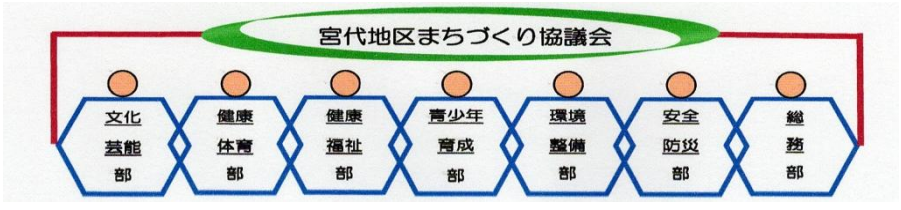

鉄塔山神社本殿

10月・11月の休館日

10月６日（火）・13日（火）
14日（水）・20日（火）
27日（火）
11月３日（火）・４日（水）
10日（火）・17日（火）
22日（日）・24日（火）

10月行事予定

	事業名	日時	曜日	場所
1	水墨画教室	2日・16日 19：00～21：00	金	まちセン 大会議室
2	シニアはつらつ教室	5日 13：00～16：00	月	まちセン 大会議室
3	さつま芋収穫体験教室	9日 8：30～10：00	金	体験農場
4	いきいきふれあいサロン	17日 9：00～12：00	土	まちセン 大会議室
5	小学校とまち協ふれあい運動会	17日 8：30～12：00	土	小学校運動場
6	伝統文化お花教室	24日 9：30～11：30	土	まちセン 大会議室



中山社北野句会　９月例会

★陽の光　やわらかくなり　秋の空　　新貝　里美

★秋の月　静かな夜を　照らしけり　　中嶋　結映

★秋出みず　平野のみこむ　曇空　　傍島　法苑

★秋草の　覆い被さる　道標（みちしるべ）　　久保田　紘義



8 月 22 日　宮代草刈りボランティアの方々が、大変暑いなか、宮代小学校の草刈りをされました。6 月の予定が雨で実施できなかったため、いつもより草も多く、背も高くて作業がはかどらず、大変苦労されていました。作業前とは見違える程奇麗になり、これで二学期に向けて準備が整いました。



8 月 24 日　「垂井町食生活改善協議会」の会員の方々が、各地で発生している災害時に作ることができ、緊急時に使える食材や、保存方法、栄養を考えた食事の作り方などを研修されていました。作ったあと皆さんで実際に食べ、改善点、今後の活動に生かすべき点などについて意見交換されました。



8 月 30 日　第 35 回「垂井町音楽祭」が町文化会館大ホールにて開催され、宮代まちづくりセンターで活動されている「オカリナ朝倉」が、器楽の部に出演されました。いつも練習している場所と違い、また、たくさんの観客の前という緊張を強いられる場面でしたが、日頃の成果を発揮され演奏されていました。



9 月 13 日　第 55 回「秋の垂井町芸術文化祭」が町文化会館大ホールにて開催され、芸能祭部門に「宮代ソーランつばき」が出演されました。いつものパフォーマンスを、全員力いっぱい披露し、会場から大きな拍手が送られ、これからの練習にも励みとなりました。



9 月 17 日　「千之子ども陶芸教室」が開催され、5 年生が、指導して頂く先生に教えてもらい、初めて陶芸造りに挑みました。準備した頂いた粘土を、回転台の上で、思い思いの形に造り、また好きな絵を描いて完成しました。窯入れをしていただき、11 月の文化祭に展示する予定です。



9 月 20 日　「小学校とまち協ふれあい運動会」「グランドゴルフ大会」「第 67 回宮代文化祭」の実行委員会が開催され、それぞれの催事について担当者より説明がありました。委員会のメンバーに、地区住民に一人でも多く参加して頂くよう働きかけすることが要望事項に盛り込まれました。

「大切にしたい力」　消費者庁の調査では、若年層ほど「コスパ（費用対効果）」や、「タイパ（時間対効果）」を重視する傾向が強いことが明らかになりました。多くの現代人が効率を求めているといえます。しかし、効率ばかり追い求めている社会では「過程を味わう力」が失われてしまいます。すぐに結果を求める姿勢は、遠回りの中で得られる発見や、人間がゆっくり成長する時間を軽視してしまう危険性もあります。植物が芽吹くまでに時間を要するように、人間関係や学びも、本来は「待つ」ことで深まると思います。今の時代に必要なのは、単に早く成果を出す力ではなく、変化や成長を焦らず見守る余裕と、過程そのものに価値を見出す感性ではないでしょうか。

不破郡垂井町宮代664番地4　宮代地区まちづくりセンター

TEL･FAX：0584-22-1010

宮代地区まちづくり協議会　　会長　　西川　一明

E-mail：miyashirokou@town.tarui.lg.jp

